

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

〔吳善花著『歴史認識は重層的に』(『日本文化』平成13年春号、展転社)より抜粋〕

問一 物事を歴史的な変遷において見るのではなく、「精神の重層性」の観点から見るのが異文化理解にとって重要である、と筆者は主張する。その理由を説明しなさい。(三〇〇字以内)

問二 自分が生まれ育った国や地域とは異なる外国の文化に接して、はじめは違和感をおぼえるが、次第にこれに魅了されることがある。

① このような経験がある者は、自分の中で何故そのような価値観の変化が生じたと考えるか、自身の体験を踏まえ、分析しなさい。

② このような経験がない者(一度感じた異文化への違和感が変わらない者、あるいは、外国の文化に全く違和感を感じたことがない者、など)は、なぜ自分がそのように感じるのか、原因や背景を分析しなさい。

(①又は②のいずれか一つに解答すること。六〇〇字以内)

(注) 楽茶碗 狭義には天正年間(十六世紀後半)以来、樂家の歴代当主が作製した作品を示すが、一般的には轆轤(ろくろ)を使用せず、手とへらだけで成形した陶器茶碗をいう。

高麗青磁 十〜十二世紀に、宋の影響下で、朝鮮半島の高麗時代に製作が始まった青色の釉薬(うわぐすり)を施した磁器をいう。

李朝白磁 李氏朝鮮時代に作製された白い素地と無色透明の釉薬の組合せからなる白色の磁器をいう。日本の陶磁器にも大きな影響を与えた。